



42:1 ヤコブはエジプトに穀物があることを知って、息子たちに言った。「おまえたちは、なぜ互いに顔を見合わせているのか。」

42:2 さらに言った。「今、私はエジプトに穀物があると聞いた。おまえたちは下って行って、そこから私たちのために穀物を買って来なさい。そうすれば、私たちは生き延び、死なずにすむだろう。」

42:3 そこで、ヨセフの十人の兄弟は、穀物を買うためにエジプトに下って行った。

42:4 しかし、ヤコブはヨセフの弟ベニヤミンを兄弟たちと一緒に送らなかった。わざわざが彼に降りかかるといけないと思ったからである。

42:5 こうしてイスラエルの息子たちは、人々に混じって、穀物を買うにやって来た。カナンのに飢饉が起こったからである。

42:6 ときに、ヨセフはこの地の権力者であり、この地のすべての人に穀物を買う者であった。ヨセフの兄弟たちはやって来て、顔を地に付けて彼を伏し拝んだ。

42:7 ヨセフは兄弟たちを見て、それと分かったが、彼らに対して見知らぬ者のようにふるまい、荒々しいことばで彼らに言った。「おまえたちはどこから来たのか。」すると彼らは答えた。「カナンの地から食糧を買いに参りました。」

42:8 ヨセフには兄弟たちだと分かったが、彼らにはヨセフだとは分からなかった。

42:9 かつて彼らについて見た夢を思い出して、ヨセフは言った。「おまえたちは回し者だ。この国の隙をうかがいに来たのだろう。」

42:10 彼らは言った。「いいえ、ご主人様。

しもべどもは食糧を買いに参りました。

42:11 私たちはみな、一人の人の子です。私たちは正直者です。しもべどもは回し者などではございません。」

42:12 ヨセフは彼らに言った。「いや、おまえたちは、この国の隙をうかがいにやって来たのだ。」

42:13 彼らは言った。「しもべどもは十二人兄弟で、カナンの地にいる一人の人の子でございます。末の弟は今、父と一緒にいますが、もう一人はいなくなりました。」

42:14 ヨセフは彼らに言った。「私が、おまえたちは回し者だと言ったのは、そのことだ。」

42:15 次のことで、おまえたちを試そう。ファラオのいのちにかけて言うが、おまえたちの末の弟がここに来ないかぎり、おまえたちは決してここから出ることはできない。

42:16 おまえたちのうちの一人を送って、弟を連れて来い。それまで、おまえたちを監禁する。おまえたちに誠実さがあるかどうか、おまえたちの言ったことを試すためだ。もし誠実でなかったら、ファラオのいのちにかけて言うが、おまえたちは間違いなく回し者だ。」

42:17 こうしてヨセフは三日間、彼らを監獄に入れておいた。

ききんは広範囲であったようで、カナンの地にいたヤコブたちにも及びました。信仰者といえども、気候や社会の変動から来る苦難に無関係ではられません。しかし主に導かれる者は、最善の主のわざにあずかることができます。そして主の新しいご計画へと導かれます。

ヤコブはエジプトの大臣が誰であるか知る由もありませんが、背後におられる主に導かれて息子たちを送ります。私たち人間は必要に駆られて行動しなければならぬときがありますが、主はどこにでもおられる方です。全能の主のあわれみを信じていきましょう。

ヤコブは歳若い息子ヨセフを失った悲しみから、同じことを心配して下の息子ベニヤミンは出しませんでした。これも人間的な動機ではありますが、後にはそれがヨセフに用いられます。そしてそれが兄弟の和解につながるのです。私たち人間は先の先まで見通すことはできません。だからこそ主に頼りつつ、今の段階で精一杯主に従う必要があるのです。

ヨセフは荒々しい態度をとりましたが、これは自分が兄弟だと悟られないため、また兄たちの心を知りたいがためでした。またそれは結果的には兄たちの悔い改めを知って、彼自身の心が癒されることにもなりました。このように神様は単にご計画を進めるだけでなく、その心の癒しまでもご配慮くださる、行き届いた方なのです。

一連の言動に関しては、ヨセフには明確なプランがあったか分かりませんが、様々な思いが混じりながら、結局は主が働かれるような命令を兄弟たちに下してゆきました。ヨセフは奴隷としてエジプトに売られてからも一貫した主の御心を行い、主に従ってきました。そのような信仰の基本姿勢がそうさせたと言えるでしょう。また主はそのようなヨセフに最善の導きで答えてくださったのです。

- ①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）
- ②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）
- ③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）
- ④この世にあって何を実践しますか？